

6月25日(土)に第2回校内テストが実施されました。5月の第1回校内テストからほぼ1ヶ月が経っています。前回のテストでは皆さんの復習不足が明らかになりましたが、今回はきちんと軌道修正ができましたでしょうか。復習なくして進歩はありません。第2回校内テストの採点答案を見直す時も、効果的な復習ができていたかいなかったのかという観点から自己診断をしてください。これから迎える夏の学習戦略を考えるためにも、何ができて何ができなかったのか自己分析する必要があります。

さて、一学期はあっという間に過ぎさり、再び夏がめぐってきました。今年の大学入試に**現役で合格した人たちに**一日の平均学習時間を尋ねたアンケート調査によると、1学期は3.6時間だったのに、夏休み中は8.2時間と2倍以上に増えています。皆さんの受験勉強の進捗状況は一人ひとり違いますから、夏に何をどれだけ勉強するのかはマニュアル的に考えるのではなく、しっかりと自己診断をする中で見えてくるものです。夏が終るまでに実現したいことを教科ごとにノートに書きだしてみましよう。理想で結構です。実際に書き出してみると、次にどれだけの勉強が必要か考えてみます。時間だけではなく、どんなレベルの教材をどこまで勉強したらよいのか、理想を含んだ計画を戦略的に見直していきましょう。自分の今の能力はどういう状況にあるのか自己分析も必要になってきます。先生の意見も聞きましょう。校内テストや模試の成績も参照して診断してくれます。そうやって夏にすることをクリアにします。あとは、実際に勉強を進める中で、ときに軌道修正をしながら夏休みの達成目標を見据えながらあの手この手で勉強しましょう。

来春入試に向けて特別に注意したいことがあります。(1)大学のSGU事業に関連して、英語重視の募集枠を新たに設けたり、英語の問題傾向が変わる大学も当然でできます。(2)国公立2次および私立大の入試問題は、センター試験改革に先行して変化していく流れが明確です。(3)7月に公表される国公立大学入試要項や私立大学の入試要項を取り寄せたり、HPなどで最新の情報をチェックしたりしましょう。大学に関する情報も後回しや人任せにせず、自分で得ることが大事です。

いろいろと話しましたが、皆さんの今年の夏の目標を一言で言うならば、「昨年と違う、エキサイティングな夏」にすることです。

「早稲田大・慶應義塾大入試説明会」催される

6月19日(日)に本学3階大ホールにて早稲田大・慶應義塾大の入試説明会が催されました。早稲田大学は就職率の高さに加え、授業の8割が50人以下で実施されイメージほどマンモス校ではないこと、理系学部キャンパスの利便性など学生生活をリアルに話してくれました。慶應義塾大学はその歴史・理念を語ってくれ、クラシックでありながらも新しい時代の学生を育てるのに貪欲な姿勢を印象づけていました。

慶應義塾大学でもインターネット出願が導入されます。実は入試スタートまで思うほど時間が残されていないと気づかされ、参加者も気持ちを新たにしていました。



個別相談会ブースの様子

7月生徒担任面談について

7月第2週より担任による生徒面談を行います。6月模試結果や校内テスト結果をもとに今後の学習計画を検討します。

面談内容

- ・6月進研マーク、校内テスト結果について
- ・夏の学習計画について(計画表をつくる)
- ・夏期講習の受講登録

7月保護者個人面談のご案内

7月16日(土)～17日(日)に保護者個人面談を行います。校内テスト、6月進研マーク模試成績および学習状況や志望大学などについて話し合います。なお、当日のご都合が悪い方は、ご都合の良い、別の日時をお知らせください。

7月重要スケジュール

- 7月 2日(土)・3日(日) 7月進研記述模試
- 7月 4日(月)～8日(金) 生徒個別面談
- 7月15日(金) 一学期終了
- 7月16日(土)・17日(日) 保護者個人面談
- 7月19日(火) 夏期講習 第1タームスタート